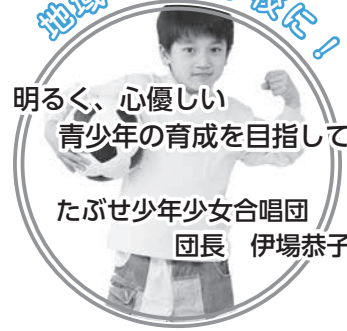


地域の力を学校に！

明るく、心優しい
青少年の育成を目指して
たぶせ少年少女合唱団
団長 伊場恭子



どんぐりころころドンブリコ
お池にはまってるさあ大変
どじょうが出て来て今日は
ばつちゃん一緒に遊びましょう
どんぐりころころよろこんで
しばらく一緒に遊んだが
やっぱりお山が恋しいと泣い
てはどじょうを困らせた

令和3年 新年度に入ってから
4月の合唱団の練習の一コマで
す。『どんぐりころころ』を歌
い終わってのこと。「どじょう
を困らせたままのどんぐりはそ
の後どうなったのでしょうか。知
りたくありませんか。」「知り
たい。」と子ども達の声。

七五調でできている物語的な
構成のこの歌は、どんぐりがど
じょうを困らせたままで終わっ
ています。そこで子ども達の創
造力を駆りたてる質問をしてみ

ました。好奇心旺盛な子ども達
は、いろんな答えを言ってきた
す。そこで、後に続きを考えた
詩を紹介します。作曲家の岩川
三郎さんは次のように3番を作
りました。

どんぐりころころ泣いてたら
仲良しリスがやってきて
落ち葉にくるんでおんぶして
いそいそお山につれてった

さらに作詞家の中には、「どん
ぐりはいろんな体験をして最後
にはお山に根付いて大きな大
きな木になり、たくさんのどん
ぐりの実をつけました。」と心温
まる詩歌を作られた人もいます。

同じストーリーを考えていた
子は大喜び。そして、褒めてあ
げます。集団の中の『存在感』
が自信に繋がっていくと信じて
います。『春が来た』『ちゅうり
つぷ』『蜂が飛ぶ』などの練習は
美しいカラー写真をしながら歌
います。情景を想像しながら感
性を養っています。『童謡・唱歌』
自体が母親に似た愛情深い『優
しさ』『思いやり』がいっぱい
詰まっていますから歌うことに
よって自然に優しい心になり、

令和2年度定期演奏会の様子



思いやりのある心が育っていく
ことでしょう。

令和2年度の定期演奏会では
コロナ禍の中、検温、消毒、換気、
保護者対象の人数制限の中、教
育委員会におかれましては子ど
も達に合唱用マスクまで用意し
ていただき感謝に堪えません。
こうして地域の皆さまに支え
られて今日まで歩いてくること
ができました。

『歌』を通して美しいものを美
しいと感じる心、そして、優し
い心や思いやりの心をもつ感性
豊かな人に成長してくれること
を願いながら、これからも『童謡・
唱歌』を子ども達や孫達に歌い
継いでいこうと思います。

社会を明るくする運動って？

社会を明るくする運動は『犯罪や非行をし
た人の立ち直りについてみんなで考え、犯罪
が起きない社会を作ろう』という、全国で行
われている運動です。

皆さんが住んでいる町でも、さまざまな活
動が行われています。社会の中で必要な支援
を受けられず、再び犯罪を重ねてしまう人た
ちがいます。

犯罪や非行からの立ち直りには、彼らを見
守り支える地域社会の温かい心が必要です。

町内でも立ち直り支援に協力する保護司が
います。相談に乗ったり、指導をして、犯罪
を予防するための地域活動などにも取り組ん
でいます。



『更生保護サポートセンターやない』は、
田布施町を含む柳井地域の犯罪や非行のない
明るい社会を築くための活動拠点です。お気
軽にご連絡ください。

◇問合せ先

更生保護サポートセンターやない

☎ 22-6899